

## 第1章 エチケット

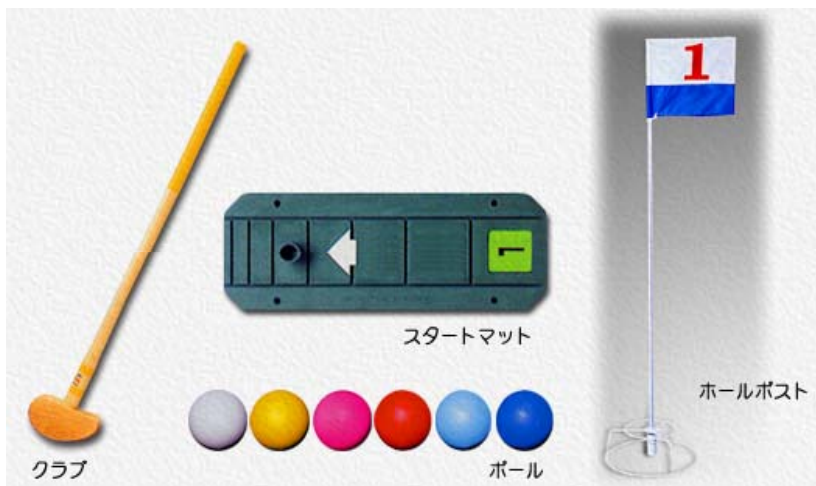
- 第1条 プレーヤーは、自分のプレーが終わったら、すみやかに次のプレーヤーの妨げにならない場所に行く。
- 第2条 プレーヤーは、同伴のプレーヤーが打つときには、**話したり、ボールやホールポストの近くやうしろに立たない**。また、自分たちの前に行く組が終了するまで、ボールを打たない。
- 第3条 プレーヤーは、自分の作った穴や足跡を直して行く。

## 第2章 ゲームに関するルール

- 第4条 ゲーム  
ゲームは、所定のボールを決められた打順にしたがってスタート位置から打ち始め、ホールポストに入って静止した状態「トマリ」までの打数を競うものである。
- 第5条 用具  
クラブ、ボール、ホールポスト、スタートマットは定められたものを使用しなければならない。
- 第6条 ゲーム中の打球練習  
プレーヤーは、ゲーム中いかなる打球練習も行ってはならない。本条の反則は1打付加する。
- 第7条 援助  
プレーヤーは、打つとき足場を板などで作ったり、人に支えてもらったりするなど、物的・人的な援助やアドバイス、あるいは風雨からの防護を求めたり、受けたりしてプレーしてはならない。本条の反則は1打付加する。
- 第8条 ボールはあるがままの状態プレー  
プレーヤーは、打ったボールが長い草や木のしげみなどの中に入ったとき、ボールの所在と自己のボールであることを確かめる限度においてのみ、これらのものにふれることができる。草を刈ったり、木の枝を折ったりしてプレーしてはならない。本条の反則は1打付加する。
- 第9条 ボールの打ち方  
プレーヤーは、ボールを打つときはクラブのヘッドで正しく打ち、押し出したりかき寄せたりしたときは1打付加する。ただし、から振りの場合は打数に数えない。
- 第10条 紛失ボールとアウトボール  
プレーヤーは、打ったボールが紛失したり、コース外に出たときは1打付加し、ホールポストに近寄らないで、プレー可能な箇所ボールを置き、次の打を行わなければならない。
- 第11条 プレーの妨げになるボール  
プレーヤーは、プレーの妨げになるボールを、一時的に取り除くことを要求することができる。取り除くのは、ボールの持ち主であり、その際ホールポストに対して、ボールの後方にマークをして取り除かなければならない。
- 第12条 他のプレーヤーのボールに当たったとき  
プレーヤーは、打ったボールが他のプレーヤーのボールに当たったときは、そのままボールの止まった位置からプレーを続ける。当てられたプレーヤーはもとの位置にボールをもどさなければならない。

- 第13条 止まったボールが風によって動いたとき  
 プレーヤーは、打ったボールが動いている間は、ボールを打ってはならない。風によってボールが動いたときは、静止した場所からプレーをし、動いてホールポストに入った場合はトマリとする。
- 第14条 第1打がホールポストに入ったとき  
 プレーヤーは、打ったボールが1打目でトマリ（ホールインワン）になったときは、合計打数からホールインワン1回につき3打差し引いて計算する。
- 第15条 ゲーム中の判定  
 ゲーム中の判定はプレーヤー自身が行う。ただし、判定が困難な場合は同伴プレーヤーの同意を求める。
- 第16条 標準コース  
 標準コースは、外回りコース4、内回りコース4の合計8ホールポストを原則とする。

## 道具について



## ホール設営について

- ・スタートマットとホールポストの向き  
 (三脚の足の向きに気をつける)
- ・各ホールのスタート位置と各ホールのホールポストの位置が近過ぎない事

## 標準コース図 (8ホール)

